

第6回しばれセミナー終了!

副会長 高橋智哉

平成22年2月6日(土)北海道大学医学部臨床大講堂にて第6回しばれセミナー『大腸がん検査の関わり』を開催しました。また、しばれセミナー初めての試みとして、札幌厚生病院副院長 今村哲理先生の講演を公開講演会とし、一般市民の方々に開放いたしました。当日は、しばれセミナーの名の通り札幌の最高気温は-6℃、そして雪…と「しばれた」一日になりましたが、市民の方々を含め96名の参加があり、大変盛り上がったセミナーとなりました。

セミナーは雪祭り期間の交通渋滞のため最初の演者である今村先生の到着が遅れ、プログラムの順番を変更して行いました。急遽、最初の演者を加藤 修技師(北海道対がん協会)にお願いし「大腸がん検診」を講演していただきましたが、今村先生の「大腸がんの早期発見と内視鏡検査」を聞く上で日本の大腸がん検診の現状が事前に分かり「災い転じて福となす」こととなりました。

さて、今村先生の公開講演では、がん死亡原因の一位となりうる大腸がんが、早期発見により治癒が望めることや内視鏡治療の有用性が説明され、特に内視鏡治療の動画を交えた解説は非常に分かりやすいものでした。一般参加の方々も講

演の内容をご理解して帰られたと思います。

公開講演の後、西田 睦技師(北海道大学病院)により超音波検査が大腸がん診断に大きく関わっていること、高木謙太郎先生(栄研化学株式会社)からは便潜血反応において採取方法や保存方法によって検出率が変わること、水島 昌哉先生(メルクセローノ株式会社)からは抗ヒトEGFRモノクローナル抗体を用いた抗悪性腫瘍剤セツキシマブ(アービタックス)が腫瘍細胞において重要で高頻度に存在する上皮成長因子受容体を標的としたものであることが話されました。最後に短時間でしたが、東 恭悟技師(札幌大附属病院)より、がんの治療方針の決定に免疫組織化学染色が重要になってきていることが話され、セミナーが終了いたしました。

今回のセミナーでは大腸がんの治療や検査について保険適応を話題にする講師が多く見受けられました。4月からは10年ぶりに診療報酬が引き上げられます。今後、良い治療・検査に的確な保険の適応が行われればいいと感じました。

なお、来年も「しばれ」を企画いたしますので皆様のご参加をお願いいたします。

◆ 2010年度診療報酬改定情報 ◆ =新たに検体検査管理加算(Ⅳ) 500点=

中医協の答申の中で臨床検査関連項目では、検体検査の質確保や迅速化を重点的に評価するため「検体検査管理加算(Ⅳ)」が新設され500点を算定可能とされた。また「外来迅速検体検査加算」は5点増の10点となった。

検体検査管理加算(Ⅳ) 入院患者1人につき月1回

- ・各種検体検査は診断や治療に不可欠なものであり、適切な医療を提供するために、その質の確保と迅速化は重要となる。
- ・特定機能病院等の大規模病院においては、高度な医療の提供が求められ、検査の質を確保するため、より充実した体制での検体検査を実施する場合の評価として新設された。

【施設基準】

- (1) 院内検査を行っている病院又は診療所であること。
- (2) 当該保険医療機関内に臨床検査を専ら担当する常勤の医師が配置されていること。
- (3) 当該保険医療機関内に臨床検査技師が10名以上配置されていること。
- (4) 当該検体検査管理を行うにつき十分な体制が整備されていること。

感染防止対策加算(入院初日) 100点

【算定要件(抜粋)】

- (3) 3年以上の病院勤務経験をもつ専任の薬剤師、臨床検査技師が配置されていること。

※今回の改正においては「検体検査管理加算(Ⅳ)」をはじめ「感染防止対策加算」「栄養サポートチーム加算」においても『臨床検査技師』の名称が付加されていることは評価されることと思われる。

●北臨技血液一般染色調査評価画像の 日臨技奨励研究への提供について●

医学検査二月号の会報JAMTをご覧になり、お気づきの方もいらっしゃると思いますが、北臨技が行っている血液一般染色調査の評価基準を全国の評価基準に位置付ける作業が平成21年度の日臨技奨励研究のプロジェクト研究に選ばれました。

血液一般染色は、細胞固有の顆粒と細胞質色調、成熟度を判別する核クロマチンの三者を明瞭に染める必要があり、より綺麗な染色像は細胞の判別を容易にします。染色試薬や染色手技は、色々な操作法で行われており、染色方法の統一よりも、染色像の統一を図る方が標準化を進めやすいと考えられます。

評価基準の統一のための研究は、北臨技で使用している評価基準が妥当なものか、日臨技各地区の研究班(部門)の血液担当者に北臨技の方法で細胞像を評価して貰い、問題点を洗い出してい、誰もが納得できる基準に作り直そうというものです。これに伴い、北臨技の染色調査画像を日臨技の評価者に提供したいと思えます。提供施設が特定できない形としますので、ご理解ご協力よろしくお願ひします。

第59回日本医学検査学会特別企画のご案内

第59回日本医学検査学会が5月22日(土)~23日(日)神戸において開催されます(和歌山県担当)。前日の21日(金)に「行列ができるスキルアップ研修会」(認定心電図検査技師・認定血液検査技師・認定微生物検査技師・NST専門療養士・糖尿病療養指導士・認定一般検査技師・認定輸血検査技師・臨床染色体遺伝子・健康食品管理士・POCTコーディネーターの各講座)が開催され、事前受付ですが、今ならまだ間に合いです。

なお、詳細は第59回学会HPを参照ください。

◆求人情報

…詳細は技師会事務所まで…

- 1) 美幌町 病院 正職員 4月採用 22~30才
- 2) 帯広市 クリニック 正職員 検査全般 経験不問
- 3) 札幌市中央区 病理検査センター 正職員及び臨時職員 病理経験者or細胞検査士
- 4) 札幌市豊平区 病院 パート(午前) 健診生理検査 4月~ 60才未満
- 5) 札幌市豊平区 検査センター 尿沈渣鏡検4日間(4月26・27、5月25・26の午後)